

112 学年度第一学期ユーラシア財団 (from Asia) 国際講座  
「アジア共同体：東アジア学の構築と変容」シリーズ講座 (6)  
テーマ：東アジア研究と学際的人材の育成

王世和 (第六講座 / 要約)

2023.10.19

## はじめに

この授業は、台湾の東アジア研究と学際的人材育成の現状と課題解決の方向を説明します。

### 1. 質問と学際を跨る人生

多領域文化、研究分野、書籍メディア（言語学、経営学、哲学、心理学、宗教学、国際関係）、日本語教育、一般教養教育、国際業務、人工知能、中国語教育、東アジア研究などの分野に焦点を当て、学際を跨る人生の考えについてお話しします。

### 2. 東アジア学際的人材の育成

人文科学、社会科学、自然科学の対話課題について言及し、人材育成は学術型と実務型に分かれます。「I型人材」（単一の専門家人材）、「T型人材」（垂直深度の専門知識を持ち、他の領域の知識も理解する人材）、「π型人材」（二つの専門分野の知識を持つ人材）、「X型人材」（二つの専門分野の知識を統合し、リソースを活用する人材）などの特長を分析します。そして、カリキュラムのデザイン、生涯学習制度、産学連携などの人材育成に関する解決策を提案します。

### 3. 台湾各大学における日本研究センターの設立状況

次世代の東アジア研究の学際的人材を育成するために、国内における人材育成の課題点を指摘し、新たな制度の計画を提案し、国内外の参考事例を取り挙げました。

### 4. 外国語教育に対する提言、カリキュラム構造と実施方向

縦の面と横の面という2つの視点から、人文科学、社会科学、自然科学、地域研究などのカリキュラム構造と実施方向を分析します。また、短期目標と長期目標から、外国語の勉強法を検討します。異なる専門分野の知識と学問、特定のトピックの異なる文化を比較し、実行可能な方向について探討します。

## 5.外国語勉強の意義と将来への期待

(1)他の言語を通じて自己を育て、より広い視野を持ち、外国語の勉強から他の専門分野にシフトする。異なる文化や社会で問題を発見し、情報を収集し、問題を解決し、終身の自己主導学習を行い、社会の問題を解決します(我來/私が~/Be the One)。次世代の東アジア研究型および実務型の人材として台湾をマーケットできるようにすることに期待します。

(2)台湾の国際競争力と可視性の向上

外国人の台湾への認識と認知度を向上させ、海外で台湾のシンボル、企業、美食、文化などが至る所で目にすることができ、皆に台湾から世界を見ることができ、また、世界から台湾を見ることができるようになってほしいのです。

徐興慶 整理

陳順益 日本語訳

2023.10.24